

食いしん防災コミュニティ部会がいく！



このHP版も8回目。ものぐさでは人後に落ちない筆者にはよく書いたもんだ。以前に書いたことを忘れてしまったので、バックナンバーを読み返してみたら・・・いやあ、自分で言うのも何だけど、けっこう面白いじゃないの！特に防災と全然関係のない映画とかの話をしている時にめっちゃノってるのがわかる。よっしゃ、これからもこの路線でいくぞお！

筆者は子どものころ、アニメや特撮ヒーローものに夢中になった世代で、学校などで仲の良い友だちが集まると、昨夜見た番組の話で盛り上がったものでした。そのころから筆者はひねくれている、みんなが主人公のかわついでにヒーローに憧れていたのに対し、脇役の変なキャラが大好きだった。



←これがポヤッキーの「ポチッとな」

ドロンジョ様 お仕置きされたい！→



たとえば「タイムボカン」シリーズに出てくるポヤッキー。いまだにスイッチを押すとき「ポチッとな」って言いますもんね。あんな大人になりたい、と心から思いました。もちろん憧れの女性はドロンジョ様。ああいう格好したお姐さまに「お仕置き」されるのが夢でした。

こう書くとそろへんたいみなのですが、かまわず続けましょう。ポヤッキー以上に少年時代の筆者が憧れたアニメキャラNo.1は、「未来少年コナン」（名探偵の方じゃないよ。巨匠宮崎駿の監督デビュー作だ）に出てくるダイス船長！数年前に声優の永井一郎が亡くなった時、メディアの見出しはすべて「（サザエさんの）波平死す」でしたが、筆者にとっては「ダイス船長死す（号泣）」でした。

ダイス船長を知らない若い人に説明すると、ダイス船長を実写化すると「パイレーツ・オブ・カリビアン」シリーズのジャック・スパロウ船長になる、とえばわかりやすいかな。ま、外見はジョニー・デップと違って、中年太りのブサイクなおっさんだけどね。二人の共通点は次の通り。



←ダイス船長

スパロウ船長→



- ① いいかげんで無責任な性格
- ② 良いやつなのか悪いやつなのかわからない
- ③ 長いものにはすぐ巻かれるが、どんな逆境にも決してめげない
- ④ お金や宝物に執着するくせに、いつも貧乏くさい（でも毎日楽しそう）
- ⑤ 船長なのに、直属の手下は2、3人しかいない

ダイス船長にはモンスリーというカノジョができるんだけど、これが猛烈に気の強い女性。きっとジャックも・・・と思っていたら、「パイカリ」シリーズ4作目に登場したペネロペ・クルス演じる元カノが、判で押したように同じタイプ！ 「パイカリ」製作陣は絶対「コナン」を見てるな、と確信したのでした。



↑愛しのモンスリー。可愛いっ♡



ほーら似てるでしょ

武器持ってるってことか・・・↑

このモンスリーがめっちゃ魅力的なんですわ！ 最初は悪の手先として登場し、血も涙もない冷酷な感じなんだけど、物語が進むにつれてどんどん変わっていく。口癖の「バカね」というセリフが、罵倒からしだいに愛の言葉に変化していくさまは鳥肌モノの素晴らしさ！ 今で言う「ツンデレ」の元祖やね。大団円でダイス船長は彼女と結婚するんです。ドロンジョにこきつかわれるだけで終わったボヤッキーを見ていた子どもたち（あえて複数）は、この結末に感動の涙を流したのでした。

ダイス船長を心の師と仰ぎ、人生のお手本にしていた筆者は、「ボクもモンスリーみたいな女性と結婚したい。そして毎日、甘い声で“バカね”と言ってもらうんだ・・・」と夢見てました。

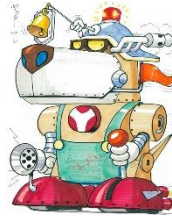
そして現実はどうなったかといえば、見ようによってはドロンジョに見えないこともない妻から、怖い声で「バカ」とののしられる毎日。「バカね」から「ね」を引いただけで、受けるダメージは100倍になるのでした・・・

ああっ、気がつく防災とまったく無関係な話を延々としてしまっただけ！ まあ新年のごあいさつということでお許しを。ということで今年もよろしくお願いします！



（注）「未来少年コナン」を宮崎駿の監督デビュー作と書いてますが、厳密には「ルパン三世」ファースト・シーズンのいくつかのエピソードで、匿名で演出しています。ま、「コナン」は公式デビューということで。

TOPICS



☆30年度防災リーダー養成講座が終了

東近江市が主催する今年度の防災リーダー養成講座（全7回）の最終回が、12月2日に本庁で行われ、筆者も出席してきました。最後の研修はDIG（災害図上訓練）の体験。

食いしん防災コミュニティ部会では、数年前からDIG出前講座を行っています。これは地震版。今回はそちらだけでなく、水害版も併せて体験させてくれたので、とても勉強になりました。



とりわけ時間軸に沿った対応を考えていくなど、湖東地区でも取り入れるべきところがいくつかありました。

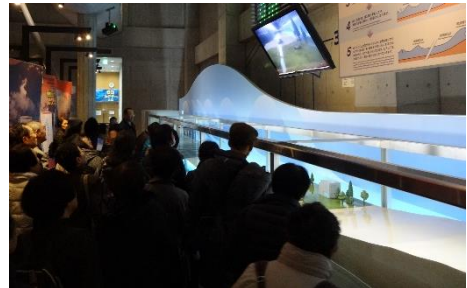
31年度も新たなプログラムで実施される予定なので、興味のある方はぜひ参加してみてください。とてもためになるし、他地区の人とも交流できて楽しいですよ！

☆「稲むらの火の館」へ行ってきました

ご存知でしょうか、「稲むらの火」を。地震の後で稲むらに火をつけて村人を呼び寄せ、押し寄せてくる津波から救った五兵衛さんのお話です。江戸時代の1854年に実際にあった話で、戦前には教科書にも載っていました。東日本大震災を機にまた知られるようになりましたが、これはラフカディオ・ハーンの色が入っており、史実とはいくらか違ってきます。

五兵衛さんの本名は浜口梧陵といって、日本の醤油醸造の祖となった人です。津波があったのは現在の和歌山県広川町で、ここに彼の業績を讃える「稲むらの火の館」が建てられ、史実を知ることができます。

筆者はここに行ってきました。新しいきれいな建物で、梧陵さんのことだけでなく、津波など災害に関する学習もできるようになっており、防災の知見を深めるにはもってこいの施設でした。



これがシラス丼だっ ◇「稲むらの火の館」和歌山県有田郡広川町広671

近くには新鮮な釜揚げシラスの店もあり、ここで食べたシラス丼は超美味・・・おっと、また脱線するところだった。危ないあぶない。皆さんも和歌山へ行かれた際は、ぜひ立ち寄ってみてください！

☆災害支援ネットの研究会に潜入！

滋賀県には、「災害支援市民ネットワークしが」という団体があります。簡単にいうと、災害に対応する組織や個人が集まって勉強や啓発活動をしていきたいと思います、というところ。何だか我らが「湖東地区防災ネットワーク」と似た匂いがするじゃないですか。



ということで、筆者は12月のある日、県内某所で開かれたこの団体の研究会に、決死の潜入を試みたのでした。掲げられた演題は「西日本豪雨等の災害からその課題を探る」とかなり本格的。出席者も真面目そうな方ばかりで、筆者はちょっとビビりました。

今回の講演は、災害発生後の被災者支援に関することが主になっていて、防災とはちょっと違う感じでしたが、「災害関連死を防ぐためには、日ごろの近所付き合いと、コミュニティ維持が不可欠」という点など、参考になるところが多々ありました。

見つかって袋叩きになることもなく、無事生還できました。持ち帰った情報は、湖東地区防災ネットワークや食いしん防災隊の活動に活かしていきたいと思えます。



今後の活動予定

- 1月24日（木）湖東地区防災ネットワーク ひばり幼稚園ブロック会議
- 25日（金）まちカフェ ハイゼックス炊飯袋でクッキング体験
- 2月 6日（水）湖東地区防災ネットワーク 第2小学校ブロック会議

勝手にQ&Aコーナー



「こんな質問があるかも」と勝手に想像して答えるコーナーです

Q：湖東地区も「災害支援ネットしが」に加盟するのですか。

A：まだわかりませんが、検討する価値はあるでしょう。会則と加入申し込み用紙ももらってきちゃいました。会費はゼロで、年に4回ほどの研究会を行っているそうです。東近江市からは、「まちづくりネット東近江」と「能登川地区まち協安心安全事業部」がすでに入会。

Q：筆者の奥様（あえて敬称）は本当にドロンジョに似ているのですか。

A：実は「妖怪人間」のペラに似ています。→
こんなこと書いてるのがバレたら殺されます。



楽しい質問、お待ちしております！

